

# ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 【2020年2月4日放送分・国分町／大町】

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱=辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。放送と合わせてお楽しみください！

- 第1回の放送後、木村浩二さんから「せっかくだからテーマを決めて歩こう」とご提案をいただきました。
- こうして始まったのが、仙台市中心部から奥州街道(今でいう国道4号線でしょうか？)を江戸に向かって歩く…というものです。
- 今も昔も仙台の中心部にあるのが「芭蕉の辻」。この交差点の名前の由来は定かでないそうですが、大町の通りには仙台藩公式の掲示板があったりと、仙台城へ登城するメインストリートでした。この場所に店を構えることは、仙台商人の憧れだったのですね。
- ちなみに大町と交わる南北の通り、国分町は、かつて国分マチと読みました。武士の町は「チョウ」、町人や商人の町は「マチ」と呼んで区別したそうです。だから、このコーナーでは国分町は国分「マチ」。
- お仲間を誘う時は「国分マチで飲まない？」と、声をかけてみては？
- 〈文・佐々木淳吾〉